

第1学年 学習習慣の確立・自分の将来を考える			
	行事	指導すべき事項	
		進学コース	特進コース
4月	・新入生オリエンテーション	・勉強面に集中するため教室美化などの環境づくり ・授業に集中するためのHR内のルールの提示 ・課外活動への積極的所属を推奨	・勉強面に集中するため教室美化などの環境づくり ・授業に集中するためのHR内のルールの提示
	・到達度テスト(春)	・「高校生活のスタートラインとなるテスト」である、という意識付け	・「高校生活のスタートラインとなるテスト」である、という意識付け
	・プレップガイド(各教科授業内)	・プレップガイドを通じ、各教科を学ぶ意義の明確化、授業へのモチベーションアップ	・プレップガイドを通じ、各教科を学ぶ意義の明確化、授業へのモチベーションアップ
5月	・第1回進路希望アンケート実施	・大学進学と高校進路との相違点の認識	・日本の大学入試システム、各入試のメリット・デメリットの説明
	・中間試験	・「総合型選抜や推薦型選抜では評定平均が大きく関わるために、定期試験1回1回重く見る必要がある」と指導	・国公立大学の利点説明 ・国公立大学及び医学部医学科への意識付け
	・〈進路のしおり〉PDFデータ提供	・過去の進学実績を参照…進路先の選択肢の多さに触れ、指定校推薦大正大学を確認するとともに、卒業生の入試体験を読むことで、自分ごととして考えさせる。 ・PTA総会日のクラス懇談にて、これまでの生徒に対する進学指導内容の紹介	・国公立と私立の比較…それぞの長所短所 ・PTA総会日のクラス懇談にて、これまでの生徒に対する進学指導内容の紹介 ・国公立大学理系学部の大学院進学率の高さを提示 ・静岡大学の就職状況を示し、理系学部の就職状況の良さ及び大学院の就職状況の良さを提示 ・PTA総会日のクラス懇談にて、これまでの生徒に対する進学指導内容の紹介
6月	・面談週間	・クラスの雰囲気の確認 ・これまでの進学指導の振り返り	・クラスの雰囲気の確認 ・これまでの進学指導の振り返り
	・リクルート適性診断	・進学に対する意識の低い生徒へのフォロー…どのような道や分野があるのかを認識させる。	・受験科目数の考え方…Compassを用い、共テの科目数は多い方が有利になるケースがあることを理解させる。
	・全国統一高校生テスト(東進・希望者) ・進研模試(6月29日(土))	・呼びかけ ・結果の活用促進…中間試験の内容が身についているかを確認させるとともに、中間試験ではできただが進研ができないかった場合には、定期テストの勉強法に問題がある可能性を指摘する。	・呼びかけ ・結果の活用促進…中間試験の内容が身についているかを確認させるとともに、中間試験ではできただが進研ができないかった場合には、定期テストの勉強法に問題がある可能性を指摘する。
7月	・期末試験	・中間試験で話したことの再確認 ・進研で失敗した生徒に対し、勉強に向かう姿勢の修正を助言	・中間試験で話したことの再確認 ・進研で失敗した生徒に対し、勉強に向かう姿勢の修正を助言
	・保護者対象進路ガイダンス「文理選択・進学説明」	・各コースが想定する大学入試タイプの説明 ・文理選択の基本的な考え方の説明 ・コース変更が3年進級時でも可能であることの確認	・各コースが想定する大学入試タイプの説明 ・文転のデメリットの説明 ・コース変更が3年進級時でも可能であることの確認
	・夏期課外(前期) ・三者面談	・希望制 ・家庭での様子を把握	・希望、義務制 ・家庭での様子を把握
8月	・将来の自分エッセイ(夏課題)	・自分の身の周りを進路の視点から振り返り、今後どのような進路につなげていくかを文章化	・自分の身の周りを進路の視点から振り返り、今後どのような進路につなげていくかを文章化
	・新書レポート(夏課題)	・「感想」ではなく「意見」を書くことの意識づけ	・「感想」ではなく「意見」を書くことの意識づけ ・読む新書として、自分の興味ある分野、できれば自然科学系の本を選ぶことを推奨
	・小論文講座申込(フレ講座実施)	・受講の必要性の有無の確認	・受講の必要性の有無の確認
9月	・到達度テスト(秋)	・経年比較による実態把握…前年の平均点を超えた生徒にはBesementの課題を免除する。	・経年比較による実態把握…前年の平均点を超えた生徒にはBesementの課題を免除する。
	・面談週間	・夏休みの様子、教室内環境や人間関係の確認 ・次年度コース確認及び指導助言…進路意識の高揚を促す。	・夏休みの様子、教室内環境や人間関係の確認 ・次年度コース確認及び指導助言…進路意識の高揚を促す。
	・文理選択表提出 ・コース変更願	・希望進路を強く意識した選択を指導…後に変更することになる生徒が多いため、この段階で丁寧に指導しておく必要があります。	・希望進路を強く意識した選択を指導…後に変更することになる生徒が多いため、この段階で丁寧に指導しておく必要があります。
10月	・LITERAS(論理言語力検定)対策	・ワークを解くことによる読み解き力や語彙力の強化	・ワークを解くことによる読み解き力や語彙力の強化
	・中間試験	・全科目が入試に直結することを確認	・定期試験と模擬試験の運動性、関係性的確認
	・進研模試(11月1日(金))	・自己採点→満点答案の作成の推奨…回収した答案をコピーして返却、試験終了後、直ちに解答を配布	・自己採点→満点答案の作成の指示…回収した答案をコピーして返却、試験終了後、直ちに解答を配布
11月	・LITERAS(論理言語力検定)	・対策で培った語彙力や読み解き力の活用 ・実践力の育成	・対策で培った語彙力や読み解き力の活用 ・実践力の育成
	・スポーツティ	・クラス作りの一環	・クラス作りの一環…特進だからと手を抜かせない。
	・キャンパスツアー(特進) サイエンスツアー(理数)	――	・見ておきたいもの、見ることのできる場所などの事前学習 ・事後レポートの作成…交友会誌に掲載する。
12月	・全国統一高校生テスト(東進・希望者)	・進研で反省点が多い生徒への受験推奨	・進研で反省点が多い生徒への受験推奨
	・期末試験	・全科目が入試に直結することを確認	・定期試験と模擬試験の運動性、関係性的確認 ・終了後の進研模試準備…仮受験プラン作成、冬休み課題等
	・模擬授業体験(LHR)	・大学や専門学校で学ぶことのできる内容の確認 ・希望する学部、学科等の絆り込み	・大学で学ぶことのできる内容の確認 ・希望する学部、学科等の絆り込み
1月	・保護者面談(希望制)	・保護者のニーズへの対応…「希望制」であるため、わざわざ来校する目的があるはず。	・保護者のニーズへの対応…「希望制」であるため、わざわざ来校する目的があるはず。
	・降誕祭	・キリスト教の人間観の体感 ・文化芸術に対する感性的醸成	・キリスト教の人間観の体感 ・文化芸術に対する感性的醸成
	・面談週間	・進路希望、生活態度、学業面で変化のある生徒へのケア ・希望進路における受験システムの説明、確認	・進路希望、生活態度、学業面で変化のある生徒へのケア ・希望進路における受験システムの説明、確認
2月	・進研模試(1月14日(火))	・教員も生徒も軽視しがちな点に注意…例年、結果が大きく下がる傾向にある ・各教科課題テスト実施の可否、是非についての議論が必要	・教員も生徒も軽視しがちな点に注意…例年、結果が大きく下がる傾向にある ・各教科課題テスト実施の可否、是非についての議論が必要
	・進路ガイダンス(生徒対象)	・大学を比較することの大切さ、情報を集めることの重要さの理解	・大学を比較することの大切さ、情報を集めることの重要さの理解
	・総合型学校推薦型(カトリック特別別入試含)説明会	・希望者	・希望者
3月	・第2回進路希望アンケート	・生徒の意識、希望進路の変化を注視	・生徒の意識、希望進路の変化を注視
	・期末試験	・全科目が入試に直結することを確認	・定期試験と模擬試験の運動性、関係性的確認
	・合格体験談	・合格体験談	・7月進研までのモチベーション維持…1月進研から6か月空くため、これ以外にも何らかの対応(例・春休み課題テスト)が必要

進学コース…進路に基づいた文理選択を行う。

特進コース…大学入試を意識して基礎力を養成する。  
理数コース…講演やサイエンスツアーで見聞を広める。